

令和4年度茅ヶ崎市体育協会総合体育大会野球競技少年の部
兼 第34回茅ヶ崎市秋季選抜少年野球大会 1部
兼 第2回シラトリ杯争奪学童軟式野球大会

開 催 要 項

- 主催 茅ヶ崎市体育協会・スポーピアシラトリ
主管 特定非営利活動法人 茅ヶ崎野球協会
開始式 9月3日(土)8:30～
試合日時 9月3日(土)から11月26日までの土・日・祭日
試合開始 午前9時(会場により変更の場合あり)
会場 茅ヶ崎公園球場 芹沢スポーツ広場、他
競技資格 ① 協会に登録しているチームの小学校3年生以上6年生以下の児童。
② 代表者(成人)が必ず引率して参加できるチームであること。
③ 参加者全員がスポーツ傷害保険に加入していること。
- チーム編成 代表者(成人)1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・マネージャー1名(監督の背番号は30、
コーチの背番号は29・28でユニフォーム着用)選手20名以内(小学校3年生以上6年生以下の児童)
でベンチ入りは、10名以上とする。
主将の背番号は10、その他の選手は10,28,29,30を除く0～99までとする。
熱中症対策のため2名のお母さんのベンチ入りを認める。
- 試合方法
- (1) 試合は、トーナメントとする。
 - (2) 試合は、6回戦とする。
 - (3) 試合時間は80分とし、制限時間を経過した場合は新しいイニングに入らない。
(注)決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合となる。
決勝戦は時間制限はありません。
 - (4) コールドゲームは、3回以降、10点差、5回以降7点差以上の時に適用する。
(3回もしくは5回を終了するか、3回表もしくは5回表終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はコールドゲーム成立とみなす)
 - (5) 雷、暗黒、降雨、光化学スモッグ、その他の事情で試合続行不可能になった場合、5回終了以前ならば特別継続試合とする。
但し、5回を終了するか、5回表を終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はゲーム成立とみなす。
 - (6) 延長戦は行わず、1イニングのタイブレーク方式を行う。正位打者が打撃を行い、得点を争う。
前回の最終打者を一塁走者とし、二塁・三塁の走者は順次前の打者とする、一死満塁の状態にして行う。(代打・代走は自由)なお、決しない場合は抽選とする。
 - (7) 使用ボールは、公認J号球とする。
 - (8) ヘルメットは必ず、打者、次打者、走者、走塁コーチとも着用のこと。チームで7個以上用意のこと。
 - (9) 金属製バットは、公認(JSBBマーク入)のものに限る。
 - (10) 捕手用マスク及びヘルメットは、危険防止のためにも公認のものを着用すること。
 - (11) プロテクター・レガース・スロットル・ファールカップは危険防止のために着用すること。
 - (12) スパイクは、金具のついたのは使用できない。
 - (13) 一試合中1投手の投球数は、70球とする。ただし、当該打者の終了までの続投は認める。
 - (14) 抗議ができるのは、監督と当該プレイヤーのみとする。
 - (15) 木製のバットを2本以上、用意することが好ましい。
(雷が鳴った時、落雷を避けるために使用する。)
 - (16) 公認規則5・10(d)〔原注〕「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから、投手以外の守備位置に移ることもできない。投手以外の負傷退場した野手に代って出場したプレイヤーは5球を限度としてウォームアップが許される。」の前段は採用しない。したがって、投手の守備位置の交代は自由である。
 - (17) 宣告四球を採用する。(監督のより申告)その場合の球数はカウントしない。
 - (18) その他は、野球規則(最新版)で行う。
 - (19) 3位決定戦は実施いたしません。

注意事項

- (1) 試合開始時間及び会場は、後日通知します。ホームページに掲載する。会場責任担当チームは主催者が指名して通知します。
- (2) ベンチは抽選番号の若いチームを一塁側とする。
- (3) 試合中のヤジ等については、指導者が十分注意すること。
- (4) 走塁コーチは登録選手が行う。
- (5) 試合前のシートノック及びバッティング練習等の時間は特別には設けない。
- (6) グラウンド(校庭)以外でのキャッチボール、バッティング等の練習は禁止する。
- (7) 試合開始予定時間30分前には集合のこと。会場に到着したらすぐにメンバー表(指定)を本部に提出すること。(試合開始が早まる可能性があるので30分前集合には、こだわらない。)
- (8) 登録の変更は、チームの最初の試合まで。(ただし、チーム間の変更は認めない。)その後は変更できない。
- (9) メンバー表には、先発の9名及び、交代要員を記入する。出場申込書によって登録の有無を確認する。登録選手の10名以上がベンチ入りすること。
- (10) サングラスの着用は、選手・指導員共に原則禁止。着用する場合は試合前に本部に届出をすること。

各試合の審判について

原則として、球審は公認審判員が行い、塁審については事前に登録されたチーム審判員が行う。チーム審判の服装は白ワイシャツ、紺ズボン、黒又は、紺の靴下、黒い靴でお願いします。

抽選方法について

- (1) 抽選は、その試合の審判員が行う。
- (2) 最終イニングに守備していた選手に、抽選権があり、投手よりシート順にクジを引く。
- (3) 主将同志がジャンケンをして、勝ったチームに、抽選順の選択権を与える。
- (4) 交互にクジを引き、ただちに回収して○印の多いチームを勝とする。その際、両チームの監督も○・×の数を確認する。

連盟取り決め事項

- (1) ファールボールが打たれた場合は、一塁側のものは一塁側ベンチ、三塁側のものは三塁側ベンチ、本塁後方のものは攻撃側ですみやかに処理する。
- (2) 攻守交代の時には、ボールを必ず投手板近くに置いて交代すること。
- (3) 投手の準備投球は原則として、試合開始の表裏、救援投手は捕手を相手に7球以内(時間にすれば1分以内)とし、次回からは3球以内とする。
- (4) 攻撃側は、第三アウトが成立したら、プレイヤーは素早くベンチを離れて、駆け足で守備に向かうこと。とくにバッテリーは、準備投球があるから、率先してベンチからでること。
- (5) 投手は返球を受けたら直ちに投手板について投球姿勢をとらなければならない。なお、打者が打撃姿勢をとっているのに、投手がボールをもってマウンド上で無駄な動きをしたり、投手板についてもなかなか投球しなかった場合は注意を与える。
- (6) 投手の塁への送球で無用と思われる塁への送球が度を過ぎれば注意を与える。
- (7) 捕手は、できるだけ捕手席から投手に返球すること。
- (8) 捕手が、投手のところへ行くときは、往復とも駆け足とする。
- (9) 次打者は、前打者の打撃が完了したら、すみやかに打者席に入って打撃姿勢をとること。
- (10) 打者は、打者席を外してサインをみることを禁止する。
- (11) 打者は、「タイム」を要求してロージンを付けに行くことは許されない。
- (12) ファールボールが打たれたときは、走者は駆け足で戻ってもとの塁に触れること。
- (13) 内野手が投手のところへ集まるときは、往復を駆け足で行い、このためにプレーの開始を遅らせてはならない。
- (14) 監督は、ピンチの時以外は、投手を交代する時を除いて、投手のところへ行くことは許されない。なお、選手をベンチに呼び寄せることを禁止する。
- (15) ベンチから、数多く無用と思われるサインを送ることは許されない。
- (16) 捕手を含む内野手が、1試合に投手の所にいける回数を、3回以内とする。
- (17) その他の事項については、(公財)全日本軟式野球連盟発行の競技者必携(最新版)少年野球に関する事項を読まれること。

各小学校使用上の注意事項

1. チームの駐車台数につきましてはHPでお知らせしますが、指定台数以上の駐車は禁止
します。
特に応援の方にも周知下さるようお願いいたします。
2. 自転車は、カギをかけ整理しておいて下さい。
3. グラウンド(校庭)内の、鉄棒・サッカーゴール・固定遊具等に乗ったり、登ったりしないで下さい。
4. チーム内で、出たゴミは、必ず持ち帰って下さい。
5. 午前8時30分以前の練習時には、声をださないようお願いいたします。
6. 試合終了後は、両チームでグラウンド整備をして下さい。
7. *試合進行状況等により変更がありますのでご了承下さい。

事務連絡

1. 大会雨天時の連絡については
9月3日以降は、午前7時までには大会開催の有無を決定しますので、午前7時以降に野球
協会情報電話85—8989で確認して下さい。
チームの方1名が確認するようにして下さい。
* 明らかに天気がよく試合ができるような場合は電話をしないこと。
2. 野球場周辺は公園ですので、バットスイング・キャッチボールは禁止になっております。
チームの選手・指導者の皆様に徹底してください。